



清水菊美のお約束 3つの安心

① 安全・安心な防災まちづくり

- 老朽化した小中学校の改修を進めます
- 京急のホームドア・柵を全駅設置
- 横断歩道用点字ブロックの拡充

② 住まい・福祉・営業の安心

- 75才以上の高齢者医療費の負担軽減を
- 国民健康保険料の引き下げ
- 特養ホームの増設
- 中小零細企業への直接支援
- 公営住宅の増設

③ 子育て・教育の安心

- 小中学校の給食費無償化
- 返済不要の奨学金の拡充
- 保育関係者の給与引き上げ・保育基準引き上げ

弱い立場の味方

清水菊美さんを 応援します

吉田陽子 なかよし保育園 園長

コロナ感染対策しながら子ども達の豊かな育ちを願ってがんばって来ました。子ども一人ひとりに向き合い、思いや願いに寄り添える配置基準の見直しで、職員増員を実現してほしい。私たちの願いをいつも聞いてくれる清水菊美区議がんばって下さい。

田村直 大田病院 院長

日本共産党区議団長として様々な区民要求に力を発揮してきました。新空港線などの大型開発優先を許さず、教育、医療・介護、福祉、中小企業支援といった真に区民に必要なことを進めていく清水区議の実行力は区政に不可欠です。6期目の活躍を期待しています。



区民にやさしい 区政へ全力!!

ねがい届けて 5期 20年

町を歩いても、懇談会や集いでも「もっと区民に優しい区政を」の声がずっと寄せられます。突然のコロナ禍で医療・社会保障制度の弱さが浮き彫りになりました。低賃金、年金の引き下げ、物価高で暮らしが厳しくなっています。いま、区政に求められるのは、安心の子育て・教育、尊厳のある医療・介護、障害福祉の充実、地元中小零細企業に仕事を、防災、気候危機対策、ジェンダー平等です。区民に優しい区政へ、希望の持てる社会へ、全力で頑張ります。どうぞよろしくお願ひ致します。



2003年区議会議員に。病に倒れ、障害を持ち、声を上げることができない人々の代わりに働く議員になってほしいの声をいまも原動力に。5期20年、どんなことでも国民・区民の立場を貫き、議会内外で正々堂々と発言できる共産党議員で本当によかった」と思う日々です。

5期・20年 正々堂々と発言できる 共産党議員でよかった

大田病院に入職し、「合併症の不安、厳しい食事制限に、生きる希望もない」と苦しむ患者さんを励ます仕事が生きていきました。「病気になるたくてなる人なんてだれもいない」と医療改善に抗し、いのち・健康を大切に社会へと活動を続けてきました。

食は希望——いのち・健康のみなもと 大田病院で管理栄養士25年

東京家政短大在学中に横浜で米軍戦闘機が墜落、母子3人含め9人死傷。なぜ米軍機が日本で墜落？戦争でもないのに？不安で胸がつぶれそうでした。事件を報じた「しんぶん赤旗」を生まれて初めて池袋駅前で購入、日本の空を米軍が優先している事を知りました。共産党を知るきっかけでした。

米軍機墜落・母子3人の無念

1957年11月20日生まれた日に、丹精込めた菊は市場で1本3円。怒った農家の父は「菊三」と名づけようとしたが、母が「菊美」にしてくれました。

「食」と平和 菊美のあゆみ



伊豆・下田の陽光浴び 元気に成長

清水菊美

しみず きくみ

日本共産党
大田区議会議員
区議団長

プロフィール

1957年静岡県下田市生まれ、東糀谷在住。大田病院で25年間、管理栄養士。2003年から区議会議員5期20年。区議会総務財政委員、オリンピック・パラリンピック観光推進特別委員



清水菊美

LINE公式
情報を配信中!
ぜひ登録を



消費税5%減税・インボイス中止

軍事費2倍化NO・憲法守れ



区民とともに 区政を動かす



防災公園、呑川護岸工事... 防災の町づくり前進

清水議員は防災対策を強く求め、東糀谷の防災公園を実現、呑川護岸工事・水門工事も進んでいます。
呑川・多摩川があふれる寸前だった2019年台風15号・19号を踏まえ、「水害時も近隣の小・中学校体育館を避難所に」と要望、障害を抱えた方や高齢者など要支援者への支援マニュアル作成を提起し、いずれも実施に。



防災公園案内板前で

呑川水門・護岸工事

貴船堀に特養ホーム実現へ

「年金で入れる特養ホームを」「住み慣れた地で晩年を過ごしたい」の声を届け続けた清水議員。活動が実を結び、貴船堀埋立区有地に118床の特養ホームができます。



ホーム完成予想図

要望が清水議員に寄せられ 即行動

「安全・安心の通学路を」「公園トイレの改修を」「車両混雑解消を」など多くの要望が清水事務所に寄せられます。その声をすぐ区に届け、解決へ動いています。
コロナ禍での暮らしの相談でも、親身で機敏な対応に「相談して良かった」の声が多く寄せられています。



行動力バグン
人もまちも元気に



清水菊美 共産党区議団長

新飛行ルート見直し・撤回を、 空と住民の安全を第1に

都心を低空飛行する羽田新ルート。落下物の危険や騒音、二酸化窒素排出など様々な被害や不安を住民に及ぼしています。「新飛行ルートは中止・撤回を」と国交省交渉を重ね、区議会でも絶えず主張。



高校生・18歳まで 医療費無料 来年度から実施へ

清水議員をはじめ、区議団は議会で何度も要望。22年6月議会でも所得制限なし自己負担無しを求め、自・公は否決しましたが23年度から実施へ。



「給食は食育・ 義務教育は無償」 学校給食無償化へ道開く

「給食は食育、義務教育で無償化は当然」と、議会で繰り返し発言・提案。自民・公明議員はその都度否決しましたが、本年・22年9月議会・共産党質問に区はそれまでの態度を改めて「自治体の判断でできる」と認め、無償化への突破口をひらきました。

この4年間で

区民の声を第1に

区議団は毎年区民アンケートを実施。22年も4,000件こえる回答が寄せられ、予算要望懇談会も毎年30こえる各界・団体と行ない、いずれも区政に反映させています。

区内各団体との
予算要望懇談会。
(正面左2人目・清水)



ねばり強く提案・申し入れ

条例提案34件、予算編成替え提案16件、コロナで区長申し入れ22回。粘り強い提案で数々の区民要望が実現しています。

行政チェック

区民の役に立たない新空港線(大田区の負担見込み363億円)は中止・撤退を。
《羽田再開発》大企業支援の羽田空港跡地開発など税金のムダづかいにはきっぱり反対。
《海外視察》毎年予算化。コロナ禍で中止していますが、税金による区議会議員の海外視察はきっぱりやめよと主張。《議員交通費》区議会議員の月額旅費3000円の実費化を提案。